

忘れないためにつくり続ける

山本 基

アーティスト 塩を素材とした創作活動を展開

私はこれまで、亡くなった家族の記憶をとどめるために、塩を使って空間全体に模様を描く作品をつくり続けてきました。本講演では、「忘れないためにつくり続ける」というテーマのもと、創作の背景と、その営みがもたらすものについてお話しします。

作品の根底には、若くしてこの世を去った妹や妻との別れがあります。塩で描く線は思い出をたどる道であり、それを繰り返すことで、私は記憶と向き合ってきました。

また、塩で描かれた模様は、展示の最後に人々の手によって集められ、海へと還されます。形は消えても、そこにあった時間や思いは、人の心の中に刻まれ続ける。記憶とは、そうしたものではないかと感じています。制作を通じ、私は喪失と向き合い、寄り添うかたちを探り続けているのかもしれません。

略歴

1966年広島県尾道市生まれ。1995年金沢美術工芸大学卒業。現在、金沢市在住。

若くしてこの世を去った妻や妹との思い出を忘れないために、浄化や清めを象徴する「塩」を用いた作品を制作。床一面に巨大な模様を描く作品は、長い時間をかけて一人で描き上げ、展覧会の最終日には観客とともに作品を壊し、塩を海へ還すプロジェクトを実施している。

緻密な絵画や壁画、デジタル作品の制作に加え、企業とのコラボレーションなど幅広く活動を展開。ニューヨーク近代美術館 MoMA P.S.1、エルミタージュ美術館、東京都現代美術館、金沢21世紀美術館、奥能登国際芸術祭、米国巡回個展など、国内外で多数の展覧会を開催。

公式サイト：<https://www.motoi-works.com/>